

## Hongwanji Buddhist Mission of Australia

# シドニー本願寺報

732 Pacific Hwy, Gordon, 2072  
PO Box 292 Lindfield (Sydney)  
N.S.W. 2070 AUSTRALIA  
Phone : (02) 9403-1256  
Email : hbma@optusnet.com.au



### 東日本大震災 八周年 復興支援イベントにて追悼

2011年に発生した東日本大震災から8年を迎え、3月11日(月)に今年も復興支援イベントがシティのメカニクス・アート・スクールを会場に、午後4時から行われました。

会場には250人以上の方々が集い、8年前の地震や津波で亡くなられた方々を追悼致しました。

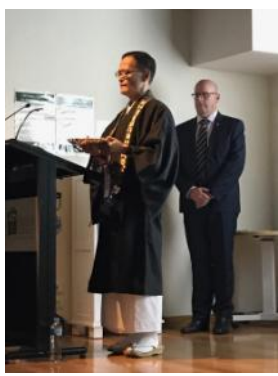
式典が始まると、短いビデオ上映の後、最初にこのイベントの主催者である、レインボープロジェクト代表の平野由紀子さんから開式の言葉が



歓迎の言葉を述べる主催者の平野さん

ありました。

それに引き続き、恒例の行事として犠牲者を追悼する読経をあげさせて頂き、そして地震の発生時刻丁度の午後4時46分(日本時間2時46分)には鑼(さん)を鳴らし、一分間の黙祷を参加者全員で捧げ、物故者に想いを馳せたことでした。



ステージ上で読経をする渡部開教使(11/03/19)



東日本大震災支援イベントに参加された皆さんの前で読経をする渡部開教使(11/03/19)

今回のイベントでは、被災地の小学生マーチングバンドのドキュメンタリー映画「March」と、被災者たちが「あの日」から、紆余曲折を経てそれぞれの毎日の生活を取り戻していく様子を描いた感動の映画「一陽来復」の上映があり、多くの方々が感動を持って視聴されました。被災地で暮している多くの方々が、災害で経験した悲しみ、苦しみを乗り越えて、自



当日上映された映画「一陽来復(いちようらいふく)」のポスター

(2ページへつづく)

4月7日(日)  
午前11時より  
開教事務所に  
於いて、今年  
の「花まつり」  
法要を厳修致  
します。お斎  
(お昼)の一品  
をお持ちの上、  
お参り下さ  
い。 合掌

### もくじ

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 東日本大震災<br>8周年追悼法要     | 1-2 |
| お寺の予定表                | 1   |
| 秋季彼岸会                 | 2   |
| クリーンアップ<br>オーストラリア・ディ | 2-3 |
| 今月のことば                | 3   |
| カウラ多文化祭               | 4   |
| アデレード道場               | 4   |
| 仏壇移転10周年              |     |
| 今月の祥月案内               | 4   |
| ご 懇 念 録               | 4   |

### ★ お寺の予定表 - Calendar ★

|                   |          |                                                                    |
|-------------------|----------|--------------------------------------------------------------------|
| Apr 7 (Sun)       | 11:00 am | 花まつり法要 / Hana-matsuri Service                                      |
|                   |          | English Dharma talk by Rev Mark Healsmith - Please bring one dish! |
| 14 (Sun)          | 11:00 am | 四月祥月法要 / April Shotsuki Memorial Service                           |
| 21 (Sun)          |          | [ 休 座 / No service at HBMA ]                                       |
| 24&25 (Wed & Thu) |          | リズモア平和式典 / Anzac Day Peace Ceremony in Lismore                     |
| 28 (Sun)          | 11:00 am | 日曜礼拝 / Sunday Service                                              |
| 29 (Mon)          |          | [ 本願寺報発行 / New Bulletin Issue ]                                    |
| May 6 (Sun)       | 11:00 am | 五月祥月法要 / May Shotsuki Memorial Service                             |
| 12 (Sun)          | 11:00 am | 日曜礼拝 / Sunday Service                                              |
| 19 (Sun)          | 11:00 am | 降誕会 & 年次総会 / Gotan-e & HBMA AGM                                    |
| 26 (Sun)          | 11:00 am | 日曜礼拝 / Sunday Service                                              |





サポーターのロゴ、中央上に西本願寺の下がり藤



東北の物産展と観光案内(11/03/19)

『…被災地で暮している多くの方々が、災害で経験した悲しみ、苦しみを乗り越えて、自分たちの街、故郷を必ず復興させるという強い意志を持ち、この世に生きていくことを意味を考え、そこに大切な何かがあることを発見し、毎日を希望を持ち続けて暮している姿に感動を覚えました。』 (本文より)

分たちの街、故郷を必ず復興させるという強い意志を持ち、この世に生きていくことを意味を考え、そこに大切な何かがあることを発見し、毎日を希望を持ち続けて暮している姿に感動を覚えました。それと共に、今後被災地域の素晴らしい文化、伝統を含めた町全体の復興が益々進み、以前と変わらぬ生活を取り戻して行って頂きたいと願ったことでした。

その他、会場入口ホールでは東北の観光案内等のほか、地元の名産品を再現したお弁当(写真右)の販売、地酒のテイスティング、東北の工芸品の展示販売、も行われ、その収益金は復興支援の為に寄付されました。今回のイベントに携わった全ての皆様に感謝の意を表したいと思います。 合掌



東北の食材を使ったお弁当



彼岸会法要の案内

## 2019年度 秋季彼岸会を厳修



彼岸会に集った皆様。後列左より、由信、鈴、亜美、由紀美、頌、ジョアネスえみさん、奥山裕子さん、三井綾子さん、ニュートン泰子さん、ウィラーさとのさん。前列左から、ミラーまあやちゃん、渡部開教至、ウィラー太陽君。(24/03/19)

3月最後の日曜日、南半球の秋季彼岸会の最終日となった24日、開教事務所にて、彼岸会が厳修されました。寒さ暑さも彼岸までと言いますが、今回はまだまだ夏の暑さが残

る日に扇風機をかけての彼岸会となりました。

こちらの岸に住む私たちが、彼の岸(西方極楽浄土)に生まれて行った祖先に思いを馳せつつ、この世では、阿彌陀仏、そして

諸々のご縁ある人達への感謝の念を持ち続けながら毎日を心安らかに送りたいものです。



お焼香する亜美



お彼岸には、丁度西の空に沈む夕日を見ながら極楽浄土を觀じ、西方浄土の阿彌陀仏、浄土に生れて行った祖先に感謝を捧げる日です。

そして今を生きる皆様一人一人が、今頂いているいのちに感謝し、よりよい毎日の生活が送れますよう念願するものです。 合掌



## オーストラリア最大のボランティア活動 レーンコープ国立公園にてクリーンアップ・ オーストラリア・ディに参加!



毎年恒例の、オーストラリア最大のコミュニティボランティア活動の日、クリーンアップ・オーストラリアディの3月3日(日)、お寺のメンバーや、シドニー日本クラブ(JCS)、シドニー日本人会(JSS)の会員が共に集い、清掃活動を行いました。今年も、120人という多くの参加者がレーンコープ国立公園に集いました。

当日は、竹若敬三在シドニー総領事、JSS(日本人会)文化行事担当者、JCS(日本クラブ)を代表して、副会長をしている私から挨拶をさせて頂き、引き続き、国立公園管理者からの注意事項の伝達等がありました。



総領事が参加者に対し歓迎の言葉が伝えられました。(03/03/19)

そして全体写真を撮った後は、クリーンアップオーストラリアのゴミ(白)と、リサイクルバッグ(黄)を持って三々五々公園内に散らばって2時間あまりゴミ収集作業を行いました。

(3ページにつづく)



(上)お焼香し合掌礼拝されるニュートン泰子さん  
(下)ジョアネスえみさんと、まあやちゃん







120人が一堂に会した今年の集合写真！(03/03/19)

お昼前にそれぞれが自分が歩いた公園内で収穫(!)したゴミを持ち帰り、それを一緒に集め、一息してから、待ちに待ったBBQを頂くことに。

日本人会の担当の方が用意して下さった美味しいBBQに舌鼓を打ちながら、参加者同士が交流を行い、大変意義深いボランティア活動の一日となりました。



シドニー日本クラブを代表して挨拶をさせて頂きました。(03/03/19)

この日の公式発表によりまずと、全国で清掃活動にあたったボランティアの総数は約68万人、集まったゴミの総量は約1万5,000トン、そしてゴミ収集の行われた場所の総計は約6,834カ所だったとのことでした。

「自分の暮らすところをきれいにしよう！」との、イアン・キアナン氏のとても純粋な気持ちから始まったというこの行事は、昨年末イアン氏が惜しくも亡くなり、彼の娘のピップ・キアナン氏が統括するようになりました。

その彼女は、この日はシドニー湾での清掃活動に参加しており、そこで「今回で無事30年目を迎えることとなりました。父の遺志を承け継いで、益々多くのオーストラリアに住む人たちによるゴミを無くしたいと願うクリーンアップ活動が盛んになっていることを大変嬉しく誇りに思っている」という談話が紹介されていました。 合掌

清掃活動を一生懸命行う由紀美と鈴ちゃんら(03/03/19)



(左) 沢山のゴミを拾った後は、(右) 美味しいお昼のBBQに舌鼓を打たせて頂きました。朝からBBQ当番だった皆様ご苦労様でした！(03/03/19)



## 今月のことば

われらは  
善人にもあらず  
賢人にもあらず

《唯信抄文意》  
ゆいしんしょうもんい  
しんらんしょうにん  
親鸞聖人(一一七三—一二六三)

*"We are not good persons,  
nor are we persons of wisdom."*

Shinran Shonin  
(1173 - 1263)

真宗教団連合刊  
「2019(平成31年)法語カレンダー-Dharma Words」  
より



## カウラ多文化祭に参加しました！3月16&amp;17日



(左上)JCSの代表者達と一緒に(右上)カウラの町中をパレード

カウラブレイクアウトから75年目にあたる今年、3月16&17日の週末、シドニーから西北西の方角320kmに位置するカウラ市に於いて1966年以来日本を二度目のゲスト国とする多文化祭があり、大使館、総領事館、等々から要請を受けた200人以上の日本人がカウラに集まり、土曜日はカウラのメインストリートを地元の皆さんと一緒にパレードに参加しました。

翌日は、まず日本人墓地にて読経を行い、75年前に亡くなられた方々を偲びました。そして、収容所跡地、カウラ庭園等を見学し帰途に就きました。ドン・キブラー氏に会えたのは大変有り難いご縁でした。合掌



ホームに暮らすかつてのカウラのリーダー、ドン・キブラー氏と(17/03/19)



二日目の朝食の後最初に向かったカウラ市の北5km程に位置する日本人墓地にて、ブレイクアウト75周年を追悼し読経を行った。



## アデレード浄土真宗道場「浄教庵」がお仏壇を迎え10周年、おめでとうございます！



ジョージ・ゲッテンビー師が26年前に得度をして以来、自宅を聞法の場「浄教庵」として開放し、縁あって集う人たちに法座を開いてきましたが、2009年に落合氏の仏壇がこの浄教庵の本尊として迎え入れられて以来今年で10年となりました。聞法の道場で、午後の一時を紅茶を飲んで仏法を語って過ごせる憩いの場をこれからも提供していきたいとのことです。合掌



ジョージ・ゲッテンビー師が26年前に得度をして以来、自宅を聞法の場「浄教庵」として開放し、縁あって集う人たちに法座を開いてきましたが、2009年に落合氏の仏壇がこの浄教庵の本尊として迎え入れられて以来今年で10年となりました。聞法の道場で、午後の一時を紅茶を飲んで仏法を語って過ごせる憩いの場をこれからも提供していきたいとのことです。合掌



(左)浄教庵の蔵書、(右)10年前にシドニーから移ったお仏壇



## 四月の祥月法要

April Shotsuki Memorial Service

Nakamura, Ise

中村 いせ 様

上記の方が4月にご往生されています。ご家族、或はご縁のございます方は、来月4月14日午前11時より厳修されます祥月法要にどうぞお参り下さいませ。

## ご 懇 念 録

## Expression of Dana/Gratitude



この一ヶ月間で、下記の方々より総計 690.00ドルのご懇志をご進納いただきました。また、計 9ドルが本願寺設立基金へ進納されました。有り難うございました。合掌

In the past month, donations to the amount of 690.00 were offered to the Amida Buddha through the Hongwanji Buddhist Mission of Australia. HBMA have also deposited \$ 9.00 to the Hongwanji Temple of Sydney Building Fund.

The HBMA acknowledges the donors and would like to express our sincere gratitude to the following for their generous donations:

- \* Ms Mihoko Nishiura — Husband's first year memorial
- \* Ms Akiko Minami — Autumn Ohigan Donation
- \* Ms Ayako Mitsui-Browne — Donations
- \* Ms Satono Wheeler — Ohigan Donation
- \* Ms Emi Joanness — Special Donation
- \* Japan Club of Sydney — Printing Honourarium

Thank you very much in Gassho





(From page 3)

## 2019 Clean Up Australia Day

After collecting much rubbish, we gathered once again for the BBQ lunch. We all enjoyed a delicious lunch together and had fun talking about each of our own personal clean up day experiences.



Lane Cove National Park



(top) Participants went out for collecting rubbish in the park. (bottom) We made Lane Cove National Park even more beautiful park taking away this many rubbish! (03/03/19)



We all hope this event will grow every year. Australians have taken a very simple idea and run with it. All we need to do is just get out to one of the sites or we can create a new site to clean up. Anyone could do this and make a difference rather than just sitting back and thinking about it.

Pip Kiernan, the new Chair of Clean Up Australia, speaking from the foreshore of Sydney Harbour where it all began 30 years ago, noted how proud she is to see so many more Australians taking up the challenge to continue her Dad's crusade against rubbish.

"It's amazing to see so many people are as passionate about looking after the environment as Dad was; I am confident that together we

can continue to grow Clean Up Australia Day well into the future," said Pip Kiernan.

"I would like to thank our wonderful volunteers, who have once again joined together to donate their time and energy to remove rubbish and litter that has been carelessly discarded. I am in awe of their unparalleled ability to turn our belief that change starts with you into action."

"Clean Up belongs to the people and I am delighted that they have made the annual event the largest community mobilisation activity in the country, bringing friends, families, neighbours, team-mates and colleagues together. We should all be proud of our outstanding success."

Thank you for those who participated in this meaningful event.

In Gassho,



Everyone enjoyed delicious BBQ! (03/03/19)



# BULLETIN

## Cowra Festival of International Understanding



## Joined Cowra Festival of International Understanding 16 & 17 March 2019



Rev Watanabe joined City parade on 16 March together with other many Japanese community members.

Many Japanese groups in Australia gathered together in the town of Peace, Cowra, on 16 and 17 March to join "Cowra Festival of International Understanding", as their guest nation was Japan for the second time since 1966.

Rev Watanabe joined the Bus Tour which organised by Japanese Society of Sydney.



The day one, we all joined the parade, and the day two, we visited Cowra Japanese cemetery to pay our respect as this is 75th year since the Cowra Brakeout took place.

Then we also visited the Brakeout site and Japanese Garden. It was so fortunate I was able to see my longtime friend, Mr Don Kibbler who is now in a nursing home. In Gassho,



With Mr Don Kibbler. (17/3/19)



Group photo at the Cowra Breakout site. (17/03/19)



## Shin Buddhism in a Nutshell

The Name is meant to be easy to say for the person unfamiliar with even a single character and ignorant of the lines of discourse in the sutras and commentaries ...  
(*The Tanni Sho* 12; *CWS*, p. 668)

One wonderful and succinct guide to the nembutsu way is a short letter by Rennyo Shonin. It is a brief summary of Jodo Shinshu entitled *Matsudai muchi sho – Those lacking wisdom in the latter age*. You can find it on page 61 of the *Jodo Shinshu Service Book*.



Rennyo Shonin

It begins:

‘Laymen and laywomen in the latter age who lack wisdom should deeply rely on Amida Buddha with singleness of heart, entrusting themselves single-mindedly and unwaveringly for their emancipation, without turning their thoughts to other matters.’

This translation makes it sound as though Rennyo is speaking as a priest to sangha members who are not ordained. However, in Jodo Shinshu we are all ‘true friends and fellow followers of the path’ (*dobō, dogyō*). In Jodo Shinshu, there is no intrinsic difference between priest and lay.

In fact, Rennyo is addressing people who have little or no knowledge of the Buddha Dharma at all – its scriptures and philosophy. And I think he is speaking to me, because knowledge is a conceit that may even hinder us from accepting Amida Buddha’s entrusting heart (*shinjin*). The truth is that we are all ignorant when it comes to the enlightenment of a Buddha.

The ‘latter age’ is *mappō*, the age of declining Dharma. We know we live in the ‘latter age’ because the three unwholesome roots — greed, anger and delusion — pose as virtues. We are constantly bombarded with marketing strategies that are intended to inflame our desires and appetites, so we are encouraged to compete for everything; public life is based on constant argument and hostility, so we are invited to be angry all the time; and we are encouraged to believe that we should try not to get old and frail, so we may become deluded about the realities of old age, sickness and death.

Knowing that we lack wisdom is the first hint of the working of the light of Amida Buddha in our lives. It is liberating; it brings brightness. It also means that we are more inclined to seek wisdom in others and less likely to be hostile and argumentative. We know we are not always right, and that other people are not necessarily always wrong. Living in harmony becomes more possible.

If we know we lack wisdom, we are more willing to turn towards its absolute source: Amida Buddha. We become ready to listen to the Dharma, and to hear the call of his Primal Vow in *Namo Amida Butsu*. Eventually, through hearing the Dharma, beings come to know that they can entrust themselves unwaveringly in Amida Buddha and not seek any other source of spiritual light in their lives.

Rennyo continues:

‘However deep and heavy their evil karma may be, Amida Tathagata unfailingly saves them.’

Amida Buddha takes in beings of evil karma, unwise and foolish, just like this, just as they are, without the slightest hesitation or discrimination.

Then they enter the joyous, free and fruitful life of nembutsu.

Rennyo concludes this wonderful summary of the Dharma by saying:

‘This is the essence of the Eighteenth Vow that assures our birth in the Pure Land through the nembutsu.

Once our heart is thus settled, we should say the nembutsu, whether awake or asleep, for as long as we live.’

*In Gassho,*

*Rev George Gatenby*



## Another Successful Clean Up Australia Day!

at Lane Cove National Park  
on 3 March 2019

Again this year, on 3 March, HBMA members and friends participated in the 30th Annual “Clean Up Australia Day”, at Lane Cove National Park, together with Japanese community groups, such as the Japan Club of Sydney (JCS) -



Rev Watanabe as Vice-President of Japan Club of Sydney, welcomed people who came to volunteer for the Clean Up Australia Day. (03/03/19)

where Rev Watanabe volunteers as a vice president, and the Japanese Society of Sydney (JSS).

This event was an another great success with over 120 people taking their part.

During a national week of action more than 680,000 volunteers across 6,834 sites have removed an estimated 15,000 tonnes of rubbish from their favorite parks, beaches, bushland, suburban streets and waterways across nation.

We gathered at the Lane Cove National Park at around 9:30 am and a person who is in charge of the Clean Up event and one of the park rangers explained how and where to collect rubbish in the park. Then Mr Takewaka, the Consul-General of Japan in Sydney welcomed everyone to this event, then the representative of the Japanese Society of Sydney and myself as Vice-President of Japan Club of Sydney shared their greetings.

After taking a group photo, we grabbed garbage bags and scattered into the park.

(Continues on page 4)



120 people gathered for the nation-wide volunteer event at Lane Cove National Park. (03/03/19)





# BULLETIN

Adelaide Shin Buddhist Dojo celebrate its 10th Anniversary

## Ten years of the Adelaide Shin Buddhist Dojo

Friday 15 March marked ten years since Rev Watanabe and the two donors of a wonderful *obutsudan* travelled to Adelaide to dedicate a small Shin Buddhist centre in our city.

Our dojo is very small. It seats no more than six people. Its 'temple' name is Jokyo-an – Jōkyō's place. It is where I teach the dharma and worship each day. While our little dojo is maintained by two members of the Hongwanji Buddhist Mission of Australia, for most people living here on the far-eastern



Obutsudan dedication service on Friday 15 March 2009 at Jokyo-an, Adelaide.

reaches of the Indian Ocean Sydney is a long way to travel.

We do not ask our members to join us except for our meetings, which we hold twice a month on Sunday. But it is hard for people to pin themselves down to a regular time. So only a regular small cohort of rarely more than three people meet regularly on Sunday mornings. Far more people call in at special times to suit themselves. We talk about their lives and the dharma, some-



Inside of Jokyo-an, as of today.



times we study a text. But always share a cup of tea and spend some time with the nembutsu.

At our Sunday meetings we dedicate Dharma time to reading a special text. Over the ten years these have included *The Tanni Sho*, Rennyo Shonin's *Commentary of the Shoshin Nembutsu Ge* and the *Sayings of Rennyo Shonin*. Recently, we have begun to study the poems of Issa, which we love.

That is the story of our little dojo. If ever you are in Adelaide, do call in – for a cup of tea and Dharma chat.

In Gassho,  
Rev George Gatenby



We watched a documentary Movie called "Life Goes On", which showed us how effected people recovered from the disaster.



(Top) Home-made Bento, (bottom) fundraising market.

(2:46pm Japan time), which is the precise moment that the 9.0 magnitude undersea earthquake hit.

During the ceremony, we all extended our deepest sympathy to the victims of the earthquake and tsunami, and we sent our thoughts to Japan. This ceremony was followed by watching documentary movies of those affected areas. During this event, there were home made Bento sale, fundraising market of traditional Japanese craft items, etc.

This event was a great success and was supported by many Sydneysiders and also visitors from Japan. In Gassho,

## Autumn O-Higan / Equinox Day Service

24 March 2019



People who gathered for Ohigan, (Back row: L-R) Yushin, Rin, Ami, Yukimi, Sho, Ms Emi Joanness, Ms Hiroko Okuyama, Ms Ayako Mitsui-Browne, Ms Yasuko Newton, Ms Satono Wheeler. (Front row: L-R) Maya, Rev Watanabe and Taiyo. (11/03/17)

On 24 March, the final day of O-Higan week, we gathered at the HBMA Hondo to commemorate those who were reborn into Amida Buddha's Pure Land. As we are now enjoying the most beautiful time of the year, let us appreciate all of our surroundings and of course Buddha's supporting arms too!

In Gassho,

# BULLETIN



## The Eighth Commemoration of the 2011 Japan Earthquake 3.11 East Japan Earthquake and Tsunami Recovery Charity Event TSU-NA-GU on Monday 11 March 2019



Dedicated people gathered for the commemoration ceremony event held at Sydney Mechanic's School of Arts, NSW. (11/03/19)

Eight years have passed since the huge earthquake and tsunami struck north-east of Japan on 11 March 2011.

This tragedy left more than eighteen thousand people dead or missing. We can never forget the images we saw on television that day of the black, wall-like tsunami rushing over the Sendai Plain at tremendous speed. The images of many fishermen bravely heading out to sea in order to safeguard their vessels are also etched deeply into our minds. The nuclear power plant accident, which followed the earthquake and tsunami, has forced many people to leave the places where they used to live because of radioactive contamination. Efforts are being made to improve the situation, but our hearts ache to think of the



Chanting before the silent meditation.

Hongwanji Buddhist Mission of Australia



Volume 20 - No. 3  
March 25, 2019

PO Box 292 Lindfield (Sydney)  
N.S.W. 2070 AUSTRALIA  
Phone : (02) 9403-1256  
Mob : 0412 - 396 - 014  
Email : hbma@optusnet.com.au  
<http://www.hongwanji.com.au>

### Inside This Issue

|                                                     |     |
|-----------------------------------------------------|-----|
| 3.11 8th Memorial of the 2011 Japan Earthquake      | 1-2 |
| Autumn O-Higan Service                              | 2   |
| Adelaide dojo celebrate their 10th Year Anniversary | 2   |
| Dharma message by Rev George Gatenby                | 3   |
| Successful Clean up Australia Day 2019              | 3-4 |
| Cowra Festival of International Understanding       | 4   |

people who are even now unable to go back to their own homes.

The Japanese community, **Japan Club of Sydney**, where Rev Watanabe gives support as one of the board members for more than a decade, once again organised a special commemorative ceremony as part of the "Rainbow Project". It was held on 11 March at **Sydney Mechanic's School of Arts** in Sydney City where over two hundred fifty people gathered.

After the opening remarks from the master of ceremony, and welcome message was extended from **Ms Yukiko Hirano**, the chairperson of Rainbow project. Rev Watanabe delivered a message and chanted a sutra. Then he lead a minute's silence, called "**Mokuto**" at exactly 4:46pm



Top: Ms Yukiko Hirano, extending her welcome message. Bottom: With Ms Misaki Ito, one of the main staffs of the Rainbow Project who took photos of effected area.



Let's us join  
**Hana Matsuri !**  
Sunday 7 April 11 am~

Please join us for our Hana Matsuri service, which celebrates Shakyamuni Buddha's birthday! **Rev Mark Healsmith** will be sharing a Dharma talk in English. Those who plan to attend, please bring one dish, so we can share and enjoy our lunch. Your support will be much appreciated.

In Gassho

